



食餌の考え方

生のペットフードを与える際に考慮すべきこと

生肉食は一部の飼い主の間で人気があります。しかし、消化性が高いことを除き、生肉食に特別な健康上のメリットがあるという科学的な証明はありません。それどころか、生のペットフードによって、いくつかの重大な健康リスクが発生するおそれすらあります。



キーメッセージ

- 生の肉、鶏肉、魚は、人間が消費するものも含め、サルモネラ菌や大腸菌などの病原菌で汚染されている可能性があります。この種の細菌はペットにとって有害であるだけでなく、飼い主の家族にもリスクが生じるおそれがあります。いくつかの研究により、ペットに生食を与えていると、通常の市販ペットフードを与えている場合に比べ、家庭内の病原菌数が多いことが明らかになっています。
- また、生食に含まれる骨もペットにとっては有害であり、歯や口腔内の損傷、窒息、消化管の閉塞や穿孔を生じる場合もあります。
- 「完全」な生の食餌と記載されている市販ペットフードであれば、犬や猫にとって適切なバランスの栄養素を提供する可能性はありますが、多くの製品はそうではありません。また、自家製の生の食餌も完全にバランスのとれた栄養を提供していない場合があります。栄養的にバランスのとれていない食餌の影響はすぐにはっきりと現れるわけではありません。しかし、成長の阻害や繁殖での問題を含め、その影響はペットの生涯にわたって続く可能性があります。

その他のリソース

Freeman, L. M., Chandler, M. L., Hamper, B. A., & Weeth, L. P. (2013). Current knowledge about the risks and benefits of raw meat-based diets for dogs and cats. *Journal of the American Veterinary Medical Association*, 243, 1549–1558. doi: 10.2460/javma.243.11.1549

Lenz, J., Joffe, D., Kauffman, M., Zhang, Y., & LeJeune, J. (2009). Perceptions, practices and consequences associated with foodborne pathogens and the feeding of raw meat to dogs. *Canadian Veterinary Journal*, 50, 637–643.

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。